

パートナーズ(株) 布子克敏の お悩み解決 リフォーム講座 第7回 窓を取り替えて暖かい家に

ここに布子社長
の写真を入れま
す。背もたれ消
去。

屋内と屋外を結ぶ窓は、住まいに欠かせない要素。今回の「お悩み解決リフォーム講座」では、取り換えるだけで冬の室内の暖かさや室内からの眺めが大きく変わる「窓」について考える。

毎年この時期は日差しが徐々に暖かさを増し、窓辺が心地良くなります。窓が大きくなればなるほど、室内は明るくなり、視界は広がるもの。しかし従来の窓には、大きければ大きいほど室内から外に熱が逃げていくという難しさもありました。見方を変えれば、窓をリフォームすることで住まいの断熱性を高め、眺めや開放感を保ちつつ冬の室内を暖かくすることができます。

改装後の窓。断熱性に優れ、屋内に差し込む紫外線・赤外線を減らす。



古いタイプの窓は二重式で、外側が金属の枠、内側が木製の枠、ガラスはいずれも1枚だけの単層式でした。金属枠は熱伝導率が高いために屋内の熱が逃げていき、屋内

従来型の窓。断熱性に劣るうえ、縦横の枠が視界の妨げに。



の空気に含まれる水蒸気が凝縮して結露を引き起こします。結露に濡れた木製の枠にはカビが生え、腐食することもあります。

これに対し、最近の窓は厚さ3〜5ミリのガラス2枚を16ミリの間隔を置いて重ねあわせ、その間には断熱性を高めるためアルゴンガスが充填してあります。結露を防ぐための乾燥剤も入っています。LOW-Eガラスと呼ばれるタイプでは、内面に特殊な金属膜が形成され、屋外から差し込む紫外線や赤外線を減らすことができます。また、窓枠は熱伝導率が低い樹脂

脂でできており、隙き間風や結露を防ぎます。

古いタイプの窓は引き戸型で、左右にスライドして開ける構造でしたが、新しいタイプは中央部が固定され、左右に押し開く開口部が設けられています。この構造のほうが気密性を維持するには有利で、中央部に枠がないため視界も良好です。防犯性を高める工夫もこらされています。

壁の改造を伴わない標準的な工事の場合、窓の交換には2日間かかるのが普通です。現在、当社では1間サイズの窓の交換 幅180センチ高さ120センチ、トステム製窓を使用)を9万9800円で承っています。詳細は電話でご相談ください。

プロフィール)ぬのこかつとしアルミ建材メーカーでの14年間の勤務を経て独立、2011年にパートナーズ(株)を設立して社長就任。36歳。